

新gTLD登録開始に向けた課題

Hirokatsu OHIGASHI

GMO Registry, Inc.

Brusselsミーティングのアウトプット/今後の課題

- 新gTLDのプログラム推進は順調に進行
- 残された課題はWGを中心に解決
- 今回のMTGにおける主なトピックは新gTLDをどのように実装、運用するかに集中

- レジストリ/レジストラ分離問題
- 申請者サポート
- MOPO /Morality and Public Order

新gTLDこれまでの経緯

- 2008年6月ICANN理事会において新gTLD Recommendation承認
- DAG (Draft Applicant Guidebook) 第一版～第三版までの発表とパブリックコメントの実施
- アウトリーチイベントの開催 (NY、ロンドン、アブダビ、香港、ブラジル、アルゼンチン)
- 2010年5月28日DAG4発表

新gTLDこれまでの経緯

- 商標保持者からの導入反対の声
- レジストリ事業者からの早期導入を望む声
- 導入障壁の緩和を望む声
- 国やエリアにおける文化の違いの問題
- インターネットの悪用に対する懸念

→WGを通じた諸問題の解決へ

関連するワーキンググループ

IRT	商標保護
STI	URS、商標管理DB
ZFA	ゾーンファイルアクセス標準化
HSTLD	ハイセキュリティTLD
TDG	レジストリ契約、委譲後の運用手順
VI-WG	レジストリ/レジストラ分離
IDN-WT	IDN変形文字、文字数制限

→ 諸問題に対応したWGにおいて解決策の検討

DAG4アップデート

- 情報公開、プロセスアップデート
- パブリックコメント
- 申請者登録時のデポジットが5,000USDに
- バックグラウンドチェック実施
- IDN文字数制限2文字に（ASCIIは3文字）
- 国名/領土名は申請不可
- 首都名を申請する際は、該当する国の政府からのサポート文章も必要

DAG4アップデート

- 商標DBの集約管理
- 新gTLDは共通の商標DB使用を義務化
- 商標優先登録または商標請求サービスの導入を義務化
- URS導入(UDRPと並行運用)
 - UDRPよりも手軽にドメインの使用停止が可能
- PDDRP(Post-Delegation Dispute Resolution)
 - レジストリ契約の不履行、ユーザー対応、サービスにおける対応不足によるレジストリ権限はく奪など

レジストリ・レジストラ分離

- DAG4には2%以上のレジストラの資本保持者、ドメイン販売に関わる事業者の新gTLDは禁止する旨の記述
- レジストラがレジストリをコントロールすることの禁止
- 実際はVI WG (バーティカル・インテグレーション・ワーキング・グループ)からのアウトプット待ち
- VI WGにおいて複数の案をベースに検討
→資本保持の割合、コントロールの定義

申請者サポート

- 資金的、能力的な障壁のある国への多角的なサポートの実施を検討
- 申請費のディスカウント検討
- 技術サポート、運用サポート、資金サポート
- サポート可能な事業者と、サポートの方法を検討
- 継続してWGにおいて検討

ブランドTLDについて

- ブランドTLDについてのセッション開催
- .canonを事例にパネリストが意見交換
- 出席者（BBC, Nestle, Orange, the American Red Cross）からはポジティブな意見
- ただし申請するという明確な意思表示はなし

その他の新gTLD関連の動き

- 新gTLD関連予算案発表
- 経済効果分析レポート(Phase1)発表
→年内にPhase2のレポート発表
- MOPO /Morality and Public Order
→国の言語や文化の違い、道徳倫理や公序良俗における文化の違いにどう対処していくか

今後の流れ

- DAG4のパブリックコメントは7/21に終了
- VI WGのパブリックコメント実施中(8/12まで)
- 9月に新gTLD関連イベント開催

- DAG最終版の発表待ち
- コミュニケーションプランの実施
- 新gTLD申請受付開始

その他の動向

- .UNICEF /ユニセフ
- .Peace /Peace Community
- .canon /キャノン株式会社
- .site
- .earth
- .IBM ???